

栃木県における「無電柱化」の推進について

無電柱化とは

無電柱化とは、道路の地下に電線類を収納する管路などを埋設する「地中化」や、表通りから見えないう、裏通りからの配線「裏配線」などにより、電柱・電線を抑制して道路上の電柱・電線を撤去することを言います。

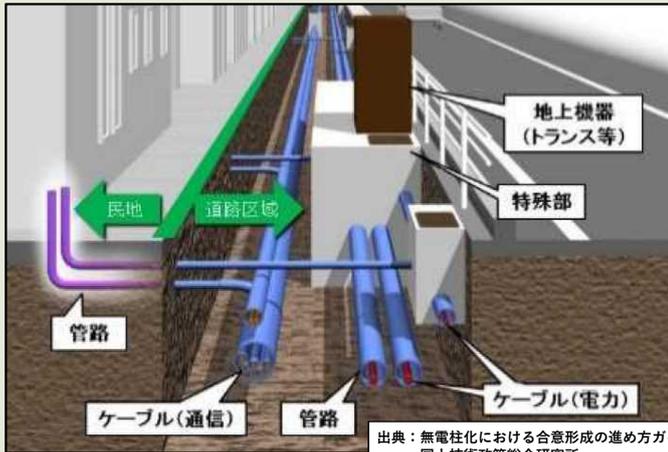
無電柱化の目的

無電柱化の目的は、主に三つあります。

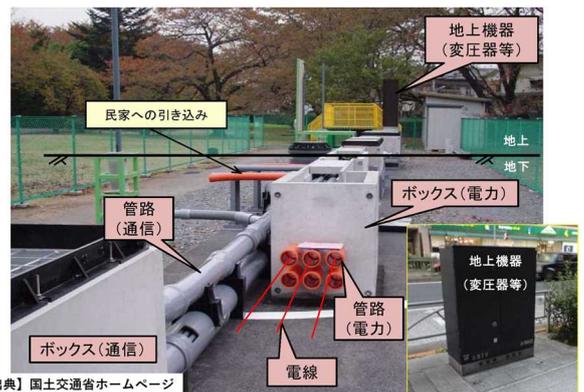
- ①「防 災」：大規模災害時の電柱倒壊による道路の寸断を防ぎます。
- ②「安全・快適」：電柱をなくし、歩道を広げ、移動しやすくなります。
- ③「景観・観光」：美しい街並みを作り、観光の振興にもつながります。

無電柱化の方法（電線地中化）

栃木県では、主に電線類を地中化する「電線共同溝」の整備を進めています。



電線共同溝の構造



栃木県の無電柱化整備事例

栃木県では、「栃木県無電柱化推進計画」を策定し、市街地の緊急輸送道路を中心に電線共同溝等の整備を進めています。



中心市街地における電線共同溝の整備 【県道大田原高林線（大田原市中央）】